

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」笠岡今井校			
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日		～	2025年 12月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	44	(回答者数)	40
○従業者評価実施期間	2025年 12月 13日		～	2025年 12月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 14日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども・保護者に対する共感的で丁寧な個別支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎時やFB(フィードバック)を通じた日常的な対話</li> <li>・児発管と現場職員が連携し、子どもの課題を共有した上での支援実施</li> <li>・必要に応じて学校訪問・関係機関との連携を実施</li> <li>・職員全体が「共感的な関わり」を意識した支援文化を形成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・FBを「報告」から対話型(気づき・仮説・次の支援)へ進化</li> <li>・面談の目的(相談/共有/意思決定)を明確化</li> <li>・保護者が「相談していい」と感じられる声かけ・タイミングの標準化</li> </ul>
2	安定した環境整備と、子どもに合わせた柔軟な支援体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用前・利用後の都度清掃</li> <li>・パーテーションや個室活用による刺激調整</li> <li>・多動・対人不安など特性に応じた環境変更を職員間で共有</li> <li>・朝礼・終礼での役割分担と支援内容の確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・玄関対応、動線配慮、利用方法の個別調整を文書化</li> <li>・構造化の意図(なぜこの配置か)を職員間で再確認し、支援に反映</li> </ul>
3	職員間の連携と支援の振り返りが機能している点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日の打合せによる支援の共有</li> <li>・ヒヤリハットの即時共有</li> <li>・定期的な研修参加・法人内研修の活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報共有が「内部で止まっている」点 →保護者・外部へ伝わる形に翻訳する工夫</li> <li>・振り返り内容を「記録」→「改善の根拠」として活用できる仕組みづくり</li> </ul>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	情報発信・説明が“やっているが伝わっていない”点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「説明があったか覚えていない」</li> <li>「HPやSNSを見たが、欲しい情報がたどりつけない」</li> <li>・非常時訓練・マニュアルの認知度が低い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報は存在しているが →量・頻度・タイミング・伝え方が保護者ニーズと合っていない</li> </ul>
2	家族支援・地域交流が限定的である点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族支援プログラム・保護者会・きょうだい支援 →「してほしかった」「機会がない」</li> <li>・地域交流・他児との活動機会は低評価</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別支援に強みがある一方で、 “家庭・地域まで広げる支援”がこれからの課題</li> </ul>
3			

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 子どもサポート教室「きらり」笠岡今井校

公表日 2026年 2月 14日

利用児童数

44

回収数

40

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	39	0	0	1	・運動もできて良かった ・とても広いと思います。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	38	0	0	2	・充分すぎるほどです。ありがたい。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	33	3	1	3	・我が子にはとてもよかった ・身体が不自由な方には利用が難しいかも… ・多動なのでもう少し集中できるやり方があると感じている。 ・教室に問題はないけど、学校の3階はなかなかハードです。	・子どもさんに合った環境が設定できるように改善してまいります。 ・子どもさんの受け入れ方法を玄関で行うなど工夫と保護者の方とご相談させていただきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	39	0	0	1	・そうじも行き届いています。 ・清潔に整備されているように思います。	
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	37	3	0	0	・小学校まで出向いてくださり、授業の様子を観察していただきました。感謝しています。 ・色々やっていただいていると感じるが合っているかどうか見極められていないように思う。	・『子どもさんに合っていない』という指摘真摯に受け止めさせていただきます。支援内容の見直し、目的を丁寧に説明させていただき方法も含め改善させていただきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	36	1	0	2	・公表している情報が分からない。	・公表場所などお伝えさせていただきます。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	35	2	1	1	・本人の課題にいつも向き合い、支援してくださり、本当にありがとうございます。 ・なにも親にきいてくれない。	・ご報告方法など改善していきます。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	34	2	1	3	・子供だけでなく、いつも私の心を助けていただき、感謝しかありません。 ・説明があったらすみません。記憶がありません。	・説明方法など行き届かずご迷惑をおかけしました。方法を改善してまいります。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	35	2	1	2	・説明があったらすみません。記憶がありません。	・説明方法など行き届かずご迷惑をおかけしました。方法を改善してまいります。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	33	6	0	1	・変化が遅い。本人に合っているか見ていない。合っていないくてもそのまま。	・支援内容とご利用者の状況を複数の職員で確認しながらミスマッチが生まれないように工夫してまいります。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	13	7	13	7	・子どもではないけど、1階の方はご理解いただけてないのか？あいさつも返さず悲しい。	・同じ建物内の他社の方と関わりが深くなるような機会を作っているように工夫してまいります。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	36	3	1	0	・最初だけあった。	・変更の度に十分のご理解いただけるように説明方法を改善してまいります。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	37	1	1	1		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	16	6	6	12	・子どもとの関わり方に悩んでいます。子育てについてもアドバイスをほしい時があります。	・情報提供が十分でないということだと感じます。方法や機会を検討して提供できるように努めてまいります。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	39	1	0	0	・その日何をしたかの報告だけです。つまらない。 ・1か月の間に1回程度しか送迎ができていないが、毎回丁寧に説明をしてくださっています。	・貴重なお話の時間の中身を工夫してまいります。

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	32	6	2	0	・小学校の先生とも面談していただき、子供の小学校での様子を共有して、ごどもに合った支援を考えてくれてうれしかったです。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	39	1	0	0	・とてもみなさん親切であたたかいです。ありがとうございます。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	9	12	9	・してほしかったです。	・機会を提供できるように検討してまいります。
	19	ごどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、ごどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	32	5	0	3	・相談しないとしてくれないですね。毎週顔を合わせているのに。親は自分の子の何が問題なのか分からないです。	・お話ししやすい環境、雰囲気の設定やお話しいただけるような信頼し手頂ける職員になるよう努めてまいります。
	20	ごどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	38	0	0	2		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をごどもや保護者に対して発信されていますか。	18	7	5	10	・あるらしいですが、見ていません。HP見たことがあります、目的の情報にたどりつけません。 ・発信していますか？	・保護者の方への発信方法を改善してまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	38	0	0	2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	22	3	1	14	・マニュアル等はあるとうかがっています。週2回1時間の利用で訓練を実施しているかはわかりません。 ・掲示物は見たことがあります。	・実施した訓練の発信方法を検討してまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13	5	2	20	・本人はしていないと言っています。 ・訓練したことはないと思う。	・実施した訓練の発信方法を検討してまいります。
	25	事業所より、ごどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	31	2	0	7		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	34	1	0	5	・小さなすり傷を報告してくださいました。 ・報告が事実と違って少しく不安になった。	・不安なお気持ちにさせ大変申し訳ありませんでした。事実を正確に伝える方法を勉強してまいります。
満足度	27	ごどもは安心感をもって通所していますか。	39	1	0	0		
	28	ごどもは通所を楽しみにしていますか。	33	6	0	1	・行き渋りもあれば、すんなり「行ってきます」と言う時もあります。 ・時々行きしぶりがある。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	39	0	0	1	・ありがとうございます！ ・先生方に会えた事に感謝しかありません。これからも、よろしくお願いたします。 ・集団生活で、まだ変化は感じられないが、支援があることで少し落ち着いた様に思います。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」笠岡今井校				公表日	2026年 2月 14日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		その場所で運動もできており、動きが制御されることもなく、とてもスペースはとれていると感じている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			職員の配置は足りているが、支援時間によっては厳しい場合もあるため、職員がプラスで配置できると尚良いと感じる。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	構造化された環境は適切であると思う。	建物の施設上、バリアフリー化は難しいと感じる。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		利用児を迎える前に都度清掃を行っており、子どもに合わせた環境設定もできている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		ハーテーションを使用しての個室を作ることが可能であると思う。また、人と関わることが苦手な利用児の場合は個室の支援室を使用するなどの共有が職員間でできていると感じる。	個人個人に合わせた環境設定は今後も工夫していく必要がある。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		入社時にPDCAサイクルの重要性について学んでいるため、それらを考えながら行動できていると思う。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		把握する機会を設けており、それらの意見について事業所内で話し合いの場を設け、改善につなげられるものはできる限り解決を行っていると思う。	今後もいただいたご意見を真摯に受け止め、改善し続けていく必要がある。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		それぞれの意見を発言する場を設けていると思う。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		第三者による外部評価は行っていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		一か月に一回のテーマ研修や、エリアで発信されている研修など受講する機会が確保されていると感じる。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		利用開始時には、支援のプログラムの公表を事前に行って支援を行えているが、日々の支援の際は支援後の報告となるケースもある。	公表方法など検討していく必要がある。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		利用前の保護者への丁寧なアセスメントが行われており、利用の際には利用児のニーズも体験等で分析をするよう心がけて作成していると思う。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		児童発達支援管理責任者と定期的に利用児について共有しながら検討を行うことができていると感じる。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		基本的に計画に沿った支援が行われていると思う。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		特にその日の行動観察やFB時の保護者からの聞き取り等は行えていると思う。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		複数職員で利用児の支援を行う際には、活動プログラムについて話し合いを行い決定することができている。	チームの人数は増やし、子供たちに関わる人数も増やしていきたい。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		支援によって、利用児ができるようになるまでは固定化することはあるが、本児ができるようになれば新しいプログラムへ移行している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		集団活動を視野に入れても、同時時間帯に利用児と集団活動をするのが難しく、複数職員では集団活動は行うことができていない。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎日朝礼を全員で行い、その日の流れや役割分担について話し合い、確認をすることができている。	共有内容をより精度を上げていけるように努めていく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		毎日支援終了後に終礼を行い、その日の支援の振り返りや共有事項を話し合うことができていない。	共有内容をより精度を上げていけるように努めていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		支援の記録は細かく記録するよう心掛けている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		必要に応じて母との面談の機会を設けており、見直しを行うことができていないと思う。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		地域交流の場の提供はできていない。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		小さなことでも自己決定ができるような支援を心掛けている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		支援等で参加が難しい場合は管理者のみ参加することもあるが、基本的には支援者も参加できていると感じる。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて連携をとり、関係機関へ訪問、話し合いの機会を設けて支援への体制を整えていると思う。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		情報共有はほとんど行っていない。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		情報共有はほとんど行っていない。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		自分はしたことがないので分からない。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		指導員が直接受ける機会はないが、管理者間では話す機会が定期的に設けられているのではないかなと思う。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		交流する機会はない。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		自分は参加していないが、代表者が参加をしている。	
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		常に支援後のFBを行っており、共通理解を図っていると思う。	方法を検討し続けていく必要がある。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		家族に対しての家族支援プログラムは行っていないが、研修や講習開催の情報提供等はチラシ等で行っている。	研修等機会を作っていけるよう計画していく必要がある。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に丁寧な説明がされていると思う。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		利用児やご家族の意向を確認して行っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		支援内容の説明を行い、同意を得て支援を行っている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		FB時に時間がある時には長めに相談にのっており、必要な場合には面談をする機会を設けて、必要な相談援助を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○	兄弟同士で交流する機会は、きょうだいごちからも利用児である場合はできているが、片方が利用していない児のきょうだいに対しては交流する機会は設けられていない。	保護者同士で交流する機会は設けられていない。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情窓口を設けたり、苦情が起きた際に迅速に対応できるよう心掛けたりしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		ブログを定期的に更新しており、具体的な内容を発信することができている。	周知方法を検討していく必要がある。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		それぞれの方に応じて適切な部分を配慮した伝達をしていると思う。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		行事を行っていない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		定期的に訓練を行い、報告書を掲示している。	周知方法を検討していく必要がある。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		定期的に訓練と話し合いの機会を設けている。	周知方法を検討していく必要がある。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		アセスメントの際に書類等で記載してもらい、確認をしている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○		食べ物の提供をしていないため当てはまらない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		研修や訓練等をしており、様々なことを想定した訓練の話し合い等を行っているため、安全管理はできていると思う。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット事項が起きた際には職員全員に周知している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		研修に必ず参加している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		事前に十分に説明を行い、理解を得ている。		